

## 6 『地球温暖化』を防ぐために学校や家でできること

区民一人ひとりがCO<sub>2</sub>を減らし、少しでも板橋区全体、さらに地球全体のことを考えて、暮らしていきましょう。

学校でできることの例

電気や水を節約して、CO<sub>2</sub>を出す原因となるエネルギーを大切に使いましょう



CO<sub>2</sub>を吸いこんでくれる木を大切にしましょう

食べものを残さないようにして、ごみを減らしましょう

家でできることの例

買い物に行くときは、買い物袋(マイバック)を持って行きましょう



自動車は、低公害車を選び、近く買い物へ行くときは自転車や歩いて行くようにしましょう

### 板橋区環境基本計画 (改訂版) パンフレット

■ 発行日 / 平成17年3月

■ 編集・発行 / 板橋区資源環境部環境保全課

〒173-8501 板橋区板橋2-66-1 TEL03-3579-2596  
ホームページ <http://www.city.itabashi.tokyo.jp/kankyo/>

刊行物番号

16-211



未来・創造  
ITABASHI 21

# 板橋区環境基本計画 (改訂版)

Itabashi

協働

区

事業者

区民

環境都市

「エコポリス板橋」

をめざして

平成17年3月  
東京都板橋区

## 1 環境基本計画とは

板橋区には、荒川河川敷や赤塚の崖線の緑地(木)、徳丸の農地(畑)などの恵まれた環境があります。これらの環境をみなさんが大人になったとき、おじいちゃんやおばあちゃんになったときにも残すことができれば、とても素晴らしいことです。そのためには、板橋区で暮らす区民、板橋区で働く事業者、板橋区のために働く行政がそれぞれ協力しあって、環境に与える影響を少なく、また、より良い環境を作り育てていく社会に変えていくことが必要です。

自動車からの排ガスや騒音問題、身近な緑や水辺の減少、地球温暖化の問題、ごみの問題など、さまざまな環境問題に対して、平成20年度までに区民、事業者、区が取り組むべき方向を示したのが、環境基本計画です。

## 2 板橋区がめざす環境

計画では、4つの望ましい環境像を示しました。

### 1 空気のきれいなまち

自動車からの排ガスなどを少なくし、空気をきれいにします

### 2 生き物とふれあえるまち

わたしたちの身の周りの緑や水辺を守り、生き物のすめる環境をつくります

### 3 温暖化防止をめざすまち

地球温暖化を防ぐために省エネや省資源の取組を行います

### 4 ごみを出さないまち

生ごみを堆肥化したり、ごみになるようなものをもらわないようにして、ごみをできるだけ出さないようにします

## 3 区民・事業者・区の役割

環境の4つの目標を達成していくためには、区民や事業者や区がそれぞれの立場で環境保全に向けた取組を行い、互いに協力することが大切です。

### 区民

- 環境について関心を持ち、自ら学習して理解を深めます。
- 日常生活において、環境負荷の低減に努めます。
- 地域住民の協働により、良好な環境の保全・創出に努めます。

### 区

- 区の特性を踏まえ、良好な環境の保全・創出にかかる施策を総合的かつ計画的に実施します。
- 区が行うすべての施策や日常業務において、環境への配慮を率先して行うよう努めます。
- 区民や事業者が良好な環境の保全・創出に係る行動をとりやすいよう、必要な支援や働きかけを行います。
- 広域的な取組を必要とする課題については、国、都、関連市区町村などの協力を積極的に図ります。
- 環境の状況や施策がもたらす環境への影響などについて情報の公開に努めます。

### 事業者

- 事業活動において、公害を防止し、環境を適正に保全するための必要な措置を実施します。
- 製品の製造、流通、販売、使用、廃棄に至る各段階において、環境負荷を最小限にとどめる努力をします。
- 環境に関する情報の公開に努めます。
- 地域社会の一員として、環境保全活動へ積極的に参加します。

## 4 『地球温暖化』ってなに？

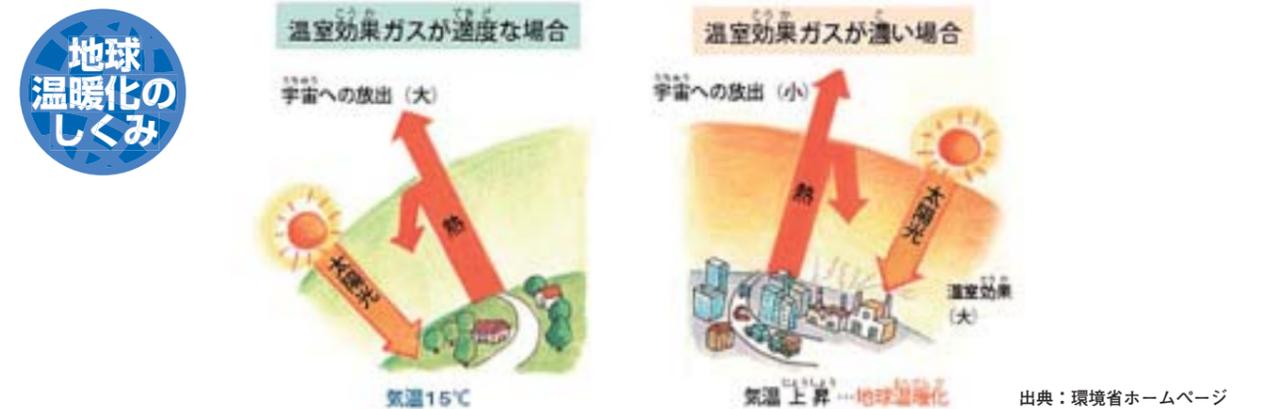
計画では重点テーマを『地球温暖化対策』とし、これからの4年間、特に地球温暖化を防ぐことに力を入れることにしました。

### ◇夏が暑くなりすぎている

最近、板橋区だけでなく全国的に、ふつう以上に夏が暑くなったり、台風がたくさん来たりしています。例えば、平成16年7月に高島平で41℃、12月になっても氷川町で26℃を記録しました。これらの原因の一つは『地球温暖化』だと考えられています。

### ◇地球温暖化のしくみと影響(下の図もあわせて見て下さい)

大気中には、熱を吸収しやすい性質を持つ「温室効果ガス」(二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素、フロンガスなど)が含まれており、これらのガスによって、人間や動植物にとって適当な温度が保たれています。しかし、石炭や石油など化石燃料の消費等が増えるに従って、温室効果ガスが大量に大気中に排出されるようになったため、地球の気温が上昇してきています(=地球温暖化)。現在そのまま地球温暖化が続くと、世界の農産物の不足や熱帯地域特有の伝染病がはやるなど深刻な影響が心配されています。



### ◇国際的な目標

平成17年2月には、国際的に温室効果ガスを減らしていく目標(京都議定書)が決まりました。日本も「1990年度比で6%削減する」という目標にしたがって減らしていかなければいけません。

## 5 『地球温暖化』を防ごう

温室効果ガスのうち、もっとも割合が高い気体は、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)です。そのため、地球温暖化を防止するためにはCO<sub>2</sub>を削減することが一番の近道になります。

しかし、CO<sub>2</sub>は私たちの暮らしと非常に密接にかかわっています。例えば、家や学校、事務所ビルなどで使っている電気を作るときには石炭や、石油を燃やしているためCO<sub>2</sub>が出ますし、都市ガスを家庭や工場などで使えばCO<sub>2</sub>が出ます。つまり、私たちの生活の中でCO<sub>2</sub>を急に減らすことは非常に難しいのです。

しかし、難しいからといって、手をこまねいているわけにはいきません。地球温暖化がもたらす深刻な影響を考えれば、ちょっとでもCO<sub>2</sub>を減らしていくような暮らし方に変えていかなければいけません。このパンフレットの裏に書かれている取組は、地球温暖化を防ぐための工夫の例です。使っていない部屋の電気を消したり、ごみを減らしたり(ごみを集める車からCO<sub>2</sub>が出ますし、ごみを燃やすとさらにCO<sub>2</sub>が出ます)、木を植えたり(CO<sub>2</sub>を吸収してくれます)し、身近なところから地球温暖化を防ぎましょう。